

なかしゅんべつ

2014

1

No.432

謹賀新年



目次

中春別農業協同組合代表理事組合長挨拶 3

北海道農業協同組合中央会会長挨拶… 4

中春別酪農対策協議会会長挨拶… 5

中春別農協青年部部长挨拶… 6

中春別農協女性部部长挨拶… 6

中春別乳牛改良同志会会長挨拶… 7

青年部のページ… 8~9

女性部のページ… 10~11

ホルスタインコンテスト… 12

別海ミルク王国国王・保育園訪問… 16

美原地区・玉木牧場様のご協力のもと撮影

写真提供：南澤三郎氏



謹んで新春の お慶びを申し上げます

新しく年を迎え皆様のご多幸と祈り申し上げます
 平成二十六年元旦

代表理事組合長	小湊 保
副組合長理事	藤倉 紀夫
専務理事	佐藤 猛
常務理事	大山 武永
理 (事務経済委員長)	望月 英彦
理 (営農生産委員長)	西川 寛稔
理事	伊藤 一吉
理事	遠藤 均
理事	山崎 浩二
代表監事	平井 真一
監事	荒 青史
監 (員)	紫藤 正幸
外職員	一同

中春別酪農対策協議会会長

西川 寛稔 外会員一同

中春別農協青年部部長

松井 和孝 外部員一同

中春別農協女性部部長

齋藤 道子 外部員一同

中春別農協良質生乳生産

西川 寛稔 外会員一同

中春別農協良質粗飼料生産

伊藤 一吉 外会員一同

中春別地域河川流域環境保全

西川 寛稔 外会員一同

中春別乳牛改良同志会会長

竹田 潤 外会員一同

中春別乳牛検定組合会長

小湊 保 外組合員一同

中春別農協農業後継者対策

藤倉 紀夫 外会員一同

中春別農協年金友の会会長

高橋 昌晴 外会員一同





新年のごあいさつ

組合員の生活向上と 農協の各事業を推進

中春別農業協同組合 代表理事組合長 小湊 保

明けましておめでとつございます。2014年の新年を迎え組合員並びに御家族の皆さまへ謹んでお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと我が国の経済は政権交代により、デフレからの脱却を課題に掲げ積極財政、成長戦略を打ち出した中、円安、株高、貿易収支の改善等、国内景気は回復傾向ですが、地方へはまだまだ波及していないのが実感です。

酪農・畜産を取り巻く情勢は大雨、低温、多湿、集中豪雨、更には台風、大型低気圧の通過により多くの施設等が被害を受けるなど異常気象にみまわれました。

経営安定対策は補給金単価が35銭に関連対策事業に合わせ80銭の引き上げとなりましたが、限度数量は2万t削減の181万tに決定されました。用途別交渉はチーズ関割1円、飲用価格は5円の引き上げとなりましたが、生産者の経営中止、分娩のズレ、乳質悪化により廃棄乳増などにより前年度を3%程度下回る結果となりました。一方畜産におきましては春先以降、資源不足に伴うホル牝、F1、和牛廃用等が価格上昇し、前年迄の低迷が脱出しつつありますが、酪農、畜産とも円安による飼料をはじめ生産資材、燃油の高止まり、9月からは電気料の値上げなど経営安定化に向けては不安を抱く一年でした。

TPP問題は7月に正式に交渉参加し、関係閣僚、首席交渉官に於いて各分野の協議を重ねておりますが、年内合意には至らず1月以降の妥結に向けた交渉予定であり、改めて党公約と衆参両院農水委員会の決議を尊重する様、各関係組織と連携し粘り強く訴えていくとともに情勢を十分に注視してまいります。

また、政府は日本再興戦略の実現に向け、産業競争力会議、規制改革会議、農林水産業地域活性化統合本部を設置し6月を目途に議論を進めております。特に経営所得安定対策の見直し、農地の中間管理機構を改めるなど農業等農政改革を推進しており、今後の動向を踏まえ

対応していかねばなりません。

こうした中、平成26年度酪農・畜産政策価格が昨年12月19日に決定されました。一年間に2度の予算決定は制度上初の出来事でした。加工原料乳生産者補給単価は、現行12円55銭から12円80銭と25銭値上げされることで決定し、加工向け対象に関連対策で20銭を交付する新規事業が創設されました。さらに、チーズ助成金単価を補給金換算で25銭アップに相当する引き上げを行うことで、合算70銭値上げの決定となりました。限度数量については、181万tから180万tの微減での決定となりました。

用途別価格は年度内決着に向け、11月末より乳業メーカーと鋭意交渉中であり、所得確保の為にプール乳価の引き上げを期待している所です。

近年、酪農環境問題が表面化する中、昨年度も家畜糞尿や雑排水が河川に流出する事故が発生しました。この現状を早急に改善すべく別海町は団体、各関係機関と連携をし、4月からの条例制定に向け作業を進めております。組合員の皆様には牛舎周辺の河川環境に今迄以上に配慮し適切な管理と処理を実践し、環境規範を遵守して頂きますようお願い申し上げます。

また、昨年の総会に於いて固定資産及びリース物件取得のご承認をいただきました給油所を始め、約5カ月間に亘る一連の工事も12月下旬に無事終える事が出来ました。工事期間中、ご不便やご迷惑をおかけいたしましたことお詫び申し上げますとともに、組合員の皆様には今迄以上のご利用とご愛顧のほど宜しくお願いいたします。

国内外の状況が急激に変化し将来に向けて不透明感が漂う中、組合員の生活向上を図り、消費者からも理解を得る為にも農協の各事業を推進して参りますので組合員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年も組合員・ご家族皆様にとりまして平穏で実り多い一年でありますよう心からご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。



平成26年の 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章

組合員並びにJ A 役職員の皆様方には、希望に満ちた平成26年の新春を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。昨年の北海道農業は、天候不順により一部地域で農作業や生育の遅れが生じ、台風や大雨等の被害にも見舞われました。そのような中、各種課題を克服しながら、二年間の営農にご尽力されたことに対して、改めて敬意を表します。

平成25年は、国内外ともに、まさに激動の年でありました。TPP交渉につきましては、3月の交渉参加表明以降、交渉参加反対のもとで、関係機関・団体と連携をはかりながら、各種運動を展開致しました。かねてより懸念していたとおり、情報開示が極めて不十分な中、秘密裏に交渉が進行し、予断を許さない不透明な状況が続いておりますが、自民党並びに衆・参農林水産委員会の決議を順守し、状況によっては脱退も辞さない覚悟のもと、それぞれの国の事情に十分配慮した対応がなされるよう、政府・与党への強力な働きかけと併せ、国民世論形成に向け粘り強い運動を展開していく必要があります。

過般、政府は我が国農政の柱のひとつである米政策を大きく転換し、それに伴い各種助成金体系や経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設等がなされました。短兵急な政策転換に対して、生産現場では不安と混乱が渦巻いておりますが、改めて生産現場における取組み状況を十分検証しながら、生産者が意欲と将来展望を持つて経営展開ができるよう、より実効性のある仕組みを確立していくことが重要であります。また、政府は成長戦略の実現に向けて、農業・J A 改革を課題のひとつに取り上げ、産業競争力会議や規制改革会議等において関連する議論を行っております。これら規制改革の動きに関しては、農業の役割や生産現場の実態に関する基本的な認識が十分でないことに大きな原因があり、北海道のような農業専業地帯の実情やJ A グループの取組み状況等を十分踏まえた議論がなされ、本道農業の持続的発展に資するような政策が確立されるよう、働きかけを強化していく必要があります。

平成24年11月に開催した第27回J A 北海道大会にお

いて、「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」について決議致しました。平成26年度は実践2年目にあたりますが、時代の変化を踏まえた中で、J A グループの組織・事業機能の充実強化に向けた自らの取組みを進めつつ、一般消費者に対する情報発信を行いながら、本道農業並びにJ A の強力な応援団づくりを進めていくことが重要であります。

国内外の情勢がめまぐるしく変化している昨今でありますが、今一度足元を見つめ直し、生産者の方々をはじめJ A グループ関係者の意志と知恵を結集した中で各種課題を乗り越えていくという強い信念と実行力が求められています。現在の地域農業やJ A の基盤を築いた我々の先人も、その時々の時代背景のもとで、さまざまな困難に立ち向かってきたものと存じます。当然のことながら、J A ・連合会も「組合員の営農と生活を守り向上させる」という目的を踏まえ、最大限の努力を傾注していかなければなりません。

さて、過般、日本の「和食」がユネスコ(国際教育科学文化機関)の世界無形文化遺産に登録される見通しであるとの動きがありました。我が国の食文化の素晴らしさが世界的にも認知されたわけですが、そのことは、素材である我が国の農畜産物が評価されたといっても過言ではなく、日本の食料供給基地である北海道の果たす役割も極めて大きなものがあると存じます。国民の命に直結する農業は、我々の先代が永きにわたり、労苦を惜しまず築き上げてきたものであり、その役割・重要性は将来にわたり、いささかも変わるものではありません。農業は、国家百年の計に立った中で、将来にわたり引き継いでいくべき重要な産業であり文化であります。

今年の干支は、午年(うまどし)です。予断を許さない情勢が続いておりますが、馬のごとく力強く、また、さつそうと駆け抜けていく気概をもって頑張りましょう。

結びになります。本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJ A グループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。

新年のご挨拶

恵まれた資源を活かし 強い経営基盤を



中春別酪農対策協議会 会長 西川 寛稔

新春を迎え会員並びにご家族の皆様におかれましては、健やかに
お過ごしのことと謹んでお慶び申し
上げます。

また、日頃より当協議会の事業
に對しまして特段なるご理解とご
協力をいただき厚くお礼を申しあ
げます。

さて、昨年の酪農情勢を振り返
りますと、加工原料乳生産者補給
金は35銭上げの12円55銭、加工原
料乳確保緊急対策が30銭、チーズ
向け生乳安定対策が15銭措置され
た事により実質13円を確保できま
したが限度数量については、2万
トン削減の181万トンに設定さ
れました。関連対策は、主要事業
の継続並びに事業確保が図られた
事や景気対策の大型補正予算のひ
とつとして、畜産経営力緊急支援
リース事業が措置された事は明る
い材料になったと思えます。

しかしながら、為替の円安、火
力発電増強などの影響による原油
高騰で全ての生産資材、光熱費な
どの生産費を押し上げ厳しい環境
が続いています。またT P P（環
太平洋パートナーシップ協定）交
渉については、重要品目5項目の

取り扱いが難航して年前の妥結に
至りませんでした。米国の強引
な姿勢は明らかで今後も動向に注
視しながら断固阻止に向け、粘り
強い運動を関係組織と連携して取
り進めてまいります。

昨年、道内選出国会議員に對しま
すと、道内選出国会議員に對する
施策提案を中心に、積極的な運動
展開をしてまいりました。また、
夏と秋の2度にわたり、情報収集
に農水省生産局との意見交換し、
効率的な必要予算の提言を行いま
した。11月には中司道議会議員と
道農政部との意見交換を行い、新
規就農対策並びに担い手対策を中
心に精力的に活動をさせていただ
きました。昨年で3回目となる、
生活クラブ連合会消費委員との意
見交換は、女性常任委員を中心に
消費者、生産者双方の立場から意
見を交わし、当地区に對する期待
感の高さを感じる有意義な交流会
を開催することが出来ました。7
月にはT P P交渉参加に抗議する
北海道集會に、全道から7千人が
中島公園に集結して、大通り公園
まで即時撤退を訴えデモ行進を行
いました。当協議会からも大変お

忙しい中、20人の参加をいただき
大変ありがとうございました。

さて、生乳生産については、第
8期生乳安定生産対策2年目と言
う事で103・2%を目標にスタ
ートしましたが、一昨年の猛暑に
よる分挽のズレや粗飼料の栄養価
減少、8月の長雨などにより前年
比割れの状況になっております。
この様な時こそ原点に返り、恵ま
れた地域資源を最大限に活かした
「土づくり・草づくり・牛づくり」
を実践し、いかなる情勢にも耐え
うる強い経営基盤をつくりあげな
くてはなりません。

生乳の安定生産と酪農経営の安
定が図られるよう関係団体とも連
携しながら、地域の実情を粘り強
く訴え、引き続き所得政策と価格
政策の二本柱を守り抜く継続的な
運動を実施し地域振興、発展のた
めに農協と連携して参りたいと思
いますので、本年も引き続き会員
各位のご理解とご協力をあらため
てお願い申し上げます。豊穣の秋を迎
える事が出来ますよう心からご祈
念申し上げます。年頭のご挨拶とさせ
ていただきます。



中春別農協青年部 部長 松井 和孝

新年、明けましておめでとうございます。

当青年部に対しまして、組合員の皆様をはじめ農協、各関係機関の皆様におかれましては常日頃よりご理解、ご協力をいただいております。すこすこを心から御礼申し上げます。



中春別農協女性部 部長 齋藤 道子

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。日頃より女性部活動に対しまして、農協をはじめ、各関係機関の皆様には多大なるご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新年のご挨拶

仲間と一緒に諸問題解に取り組む

すと、春先は比較的天候にめぐまれ良質な一番草の収穫が期待できたものの、8月に入ってから長雨のため乾草の収穫が出来ないといい状況に陥り、また雨は9月に入ってから続き、2番草収穫の時期を大幅に遅らせることとなり、反面日照不足から牧草の成長も芳しくなく、収量・品質ともに不安の残るところとなつてしまつたのではないのでしょうか。

そのような状況の中、当青年部は新たに6人の部員が加入し、より活発に各事業へ取り組んでまいりました。特に昨年から始まりました、都市部での消費拡大イベントを中心に牛乳・乳製品のより一層の需要拡大を目指す消費拡大部の活動に重点的に取り組むとともに研修部会では、農林水産省へと出向き、今後の酪農のあるべき姿などについて活発な意見交換会を行つてきま

した。また交流部会では、部員間の交流はもとより、当農協の職員との交流を通じて日常の仕事の円滑なとり進めに役立てると共に、本年度より他農協の職員との交流会を開催し、より広い人間関係の構築へ取り組んでまいりました。更に前年度から始まりました、後継者対策としての異業種交流会の開催を控えており、今後ますます精力的に活動へ取り組んでいきたいと思つています。また、昨年は根室地区青協の代表として、全道青年部大会にて活動実績発表も行いました。

新しい年を迎えるに当たり酪農を取り巻く複雑な状況の中、様々な問題に直面することもあるかと思つています。そんな中でも我々青年部は仲間と手を取り合い一つ一つの前の問題と向き合い、解決を打ち出していきたいと思つています。また、決して留まることなく歩き続けることが新たな力となることと信じ、青年部一同協力していく所存であります。最後になりましたが、この一年が皆様にとりまして家内安全、牛群安全であります事を祈念いたしまして新年の挨拶いたします。

新年のあいさつ

厳しい時代を乗り越える組織を目指して

今年も私たち、酪農を取り巻く情勢は厳しく、混迷を深める情勢の中、政府においてTTP交渉参加、消費税率3%引き上げになるなど農業のみならず大きな問題が山積みであります。また、昨年の天候不順による気候の為の粗飼料の心配等、今後の生乳生産に影響を及ぼす状況ではないかと思われまふ。生産者である

立場から食品の「安心・安全」に対する消費者の付託にこたえるため、良質乳生産体制の維持、強化を図り、女性視点を活かし広い視野を持つて情報を取り入れ、勉強していかななくてはなりません。昨年の女性部活動といたしましては、5月に宿泊研修として、福島県の被災地に行つてきました。仮設の浜風商店街の方達の笑顔と頑

張る姿に力をもらいました。その後、女性部で作つた押し花とお礼の言葉を飾つた色紙を送り交流を深めました。また、青年部と共に札幌で、牛乳乳製品の消費拡大運動に参加して参りました。消費者の皆さんの声に改めて良質・安全・安心な牛乳を生産しなければと強く感じました。農協周辺改装工事、店舗のリニューアルに伴い、新しい調理室について女性部で意見を出しました。完成後は早速女性部趣味の会でおまんじゅうづくりを行い

部員同士交流を深めました。私たちは生活環境の大きな変化に気付き、もう一度自らの活動、組織運営を見直し、厳しい時代を乗り越えることのできるJA女性組織を目指して取り組んで参りたいと思つています。本年も私達女性部はより一層活発な組織活動を展開して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

平成25年
新規エクセレント
獲得牛(獲得順)

累計211頭



ライプリー スポツタイー アドベント

No.0257507871 H19.11.17生 所有者 山田 光男殿
04-02 286 M9,626kg F4.2% P3.4%
父:KHW カイト アドベント RED ET
母:ライプリー スポツタイー ストーム



アビリティファーム チャンプ ピーターチエ ET

No.0290607026 H19.08.02生 所有者 橋本 幸二殿
03-11 305 M10,954kg F4.2% P3.7%
父:カルプレットアイ HH チャンピオン ET
母:アビリティファーム ウェード ピーターチエ



FR マツヨ リヴェレスト

No.0359407611 H20.10.09生 所有者 浮川 優殿
04-02 305 M12,829kg F4.1% P3.4%
父:コムスター リヴェレスト ET
母:FR マツヨ レビニュー コール



英知を結集し
明るい未来を
切り開こう

中春別乳牛改良同志会 会長 竹田 潤

2014年、新春を迎えるにあたり、日頃より格段のご理解、ご協力、ご指導を賜りました皆様へ謹んでお慶び申し上げます。また、当同志会事業運営につきましては農協をはじめ、関係諸機関、企業の皆様に多大なご理解とご協力をいただき、役員、会員一同、心より重ねて感謝とお礼を申し上げます。

昨年は何と言いましても、2013北海道ホルスタインナショナルショウにおいて、当同志会会員がリザーブ・インタミ・デイエイトチャンピオンを獲得する快挙を成し遂げ、出品頭数も8頭ながら7頭が入賞、そのうち3頭が1等賞入賞と素晴らしい成績を収めることができました。そして、会員の見聞を広げ乳牛改良・飼養管理の研鑽を図るために「地区内視察研修」や乳牛改良の最先端にある家畜人工授精所、大規模農場を巡る「視察研修」の開催、青年部・女性部と共に(尙)ギガファームグループでの講習会の開催、多くの組合員の皆様にもシヨウへの興味、関心を深めていただけるよう組合員だより「なかしゅんべつ」紙面上において写真コンテストを開催して参りました。また、別海町・根室管内・北海道各協議会事業にも精力的に参

加し、講習会やジャッジングスクールにおいて、多くの会員が乳牛改良の知識・技術を深めて参りました。そのような活動が実を結び、前述の通りシヨウでも好成績を収め新規エクセレント獲得牛も3頭、累計211頭と充実した成果を上げる事ができました。

しかしながら、昨年末に政権が交代し「アベノミクス」の効果も私どものもとまでは効果も乏しく、TTP参加の内容も具体化しておりません。情勢においても飼料穀物の高止まりが続く、異常気象の影響が牧草収穫時期の低温など天候が安定せず、良質牧草の収穫が難しく乳量も伸び悩み、厳しい経営を余儀なくされるなど多くの困難を抱えておりますが、長年に亘る同志会の歴史の中で培われた英知を集結し、情熱を持って明るい未来が切り開けると信じて進んで参ります。

本年も乳牛改良と酪農経営を融合し、「中春別」に根差した活動を展開して参りますので組合員、農協・関係諸団体の皆様には、変わらぬご理解とお力添え節にお願い申し上げます。

農水省生産局畜産部との 平成26年度酪農畜産関連対策に関する 意見交換並びに国会議員への要請を実施

中春別酪農対策協議会(西川寛穂会長)では、11月25日
26日の両日、中央要請を実施しました。



初日、農水省生産局にて牛乳乳乳製品課課長、担当官が出席した中で最近の酪農畜産をめぐる情勢について意見が交わされ、飼料高騰からくる経営コスト高の状況下、酪農家の生産意欲が保てるような現行以上の補給金価格としてほしいこと、担い手に対して畜舎新設等の補助事業や草地更新事業の補助率をあげてほしいこと、有害鳥獣対策としてエゾシカの駆除と牧草被害防止の支援、家畜防疫対策として伝染病発生農家の経営再建支援等について要請を行いました。

2日目の国会議員への要請についても、同様の要請を行い国会議員からは、離農が多く農家戸数が減っている中で所得確保対策に力をいれたいと述べられました。

(要請者)

- | | |
|--------|-------|
| 会 長 | 西川 寛穂 |
| 副会長 | 渡辺 覚 |
| 常任委員 | 高橋 真悟 |
| 常任委員 | 野矢 貴志 |
| J A中春別 | |
| 理事 | 遠藤 均 |
| 理事 | 山崎 浩二 |
| 事務局 | 館内 |

青年部のページ

現場で働く酪農青年の考えを訴える

農水省生産局畜産部との意見交換会を実施

青年部(松井和孝部長)では、青年部役員10人参加のもと11月19日(火)に農水省生産局畜産部との意見交換会を実施いたしました。

2年に1度、青年部は農水省との意見交換会を行っており、今回初めて参加される方もいましたので事前勉強会を行い、全員が質問できる体制で参加しました。

当日は農水省より昨今の酪農情勢について、また、平成26年度予算概算要求について説明をいただき、意見交換会へと移行しました。

意見交換会では、畜産経営力向上緊急支援リース事業や鳥獣被害対策事業、また草地整備事業、家畜伝染病など、営農に係る様々な問題点について、短



青年部役員10人参加のもと農水省と意見交換

い時間ではありましたが、現場で働く酪農青年が何を考え、何を求めているか、十分に伝えることが出来たことと感じます。

(参加者)

- | | |
|-----|-------|
| 部 長 | 松井 和孝 |
| 副部長 | 兼松 真武 |
| 理 事 | 野矢 貴志 |
| 理 事 | 片野 大介 |
| 理 事 | 千葉 悟 |
| 理 事 | 山田 晃嗣 |
| 理 事 | 藤倉香津靖 |
| 理 事 | 小西 祐司 |
| 理 事 | 相澤 孝太 |
| 理 事 | 平井 優一 |
| 事務局 | 河合 |



「青年の主張」活動実績発表」が各地区代表が発表しました

12月5～7日にかけて、青年部（松井和孝部長）では、第62回全道JA青年部大会（札幌パークホテル）並びに雪印メグミルク酪農と乳の歴史館（苗穂）への視察研修会を開催しました。

Exciting Innovation 行動から創造へ

始めに5～6日で行われた全道大会では、大会テーマを「Exciting Innovation ～行動から創造へ～」とし、受け継がれてきた情熱と希望の大地を次世代に繋いでいくために意志の結集を図る場と位置付け、全

第62回全道JA青年部大会並びに視察研修会

代表として、当青年部松井部長が「牛魂くち春別青年部 栄光の軌跡 激闘編」と題し、消費拡大事業を中心に発表を行いました。残念ながら最優秀賞とはなりませんでしたが、毎週夜遅くまで作成・練習することにより部員同士の絆が一段と深まったことと感じます。

大会終了後には、雪印メグミルク札幌工場「酪農と乳の歴史館」へ視察を行い、創業当初の木製バターチャーシューや濃縮機、乾燥機等を見学した後、工場内も見学し、牛乳が梱包されていくラインを見学させていただきました。

道より650人以上、当青年部からは8人の部員が参加しました。大会では「青年の主張」活動実績発表が、各地区の代表が発表しました。活動実績発表では根室地区

また「分科会」では、日本気象協会 気象予報士 半田晋二郎氏を講師に招き、「農業に役立つ気象情報とその使い方」と題し、講演いただきました。

全体懇親会では、「アームレスリング大会」「純農ボーイコンテスト」が行われ、全道盟友との交流を図り、終始賑わっておりました。

2日目は、野口観光グループ代表取締役社長・野口秀夫氏を講師に招き、「ホテル経営からみた農業経営」と題し、3つの経営理念を中心に講演いただきました。また「1分間CMコンテスト」では、34単組より募集があり、特色あるCMが発表されま



松井青年部長を中心に参加してきました

あざやかな色合いのフラワーアレンジ

女性部 フラワーアレンジメント講習会

中春別農協女性部(齋藤道子部長、女性部園芸グループ(中村及子リーダー)で

は、フラワールームえみささんから渡辺正樹氏を講師に招き、12月11日(水)フラワー



アレンジメント講習会を開催しました。今年も豪華な材料を使ってフラワーアレンジを作成。先生のお手本を見てから作業に取り掛かりました。赤いばらやピンクのスイトピーなど女性らしい色遣いの素材が並び、参加者もますますやる気の様子。横に広げた作品になったり縦に大きい作品だったり、みなさん毎年参加しているだけあって、それぞれ個性の出る作

品も見られました。出来あがったアレンジはクリスマス、年越しまで華やかに飾るところでしょう。



みなさん素敵に出来上がりました

美味しい「まんじゅう」ができましたよ!

趣味の会 まんじゅう教室

趣味の会(阿部郁子リーダー)では、11月27日(水)まんじゅう教室を開催しました。人気行事ということもあり、メンバーが多数参加され、リニューアルした調理室で初のお菓子教室となりました。

出来上がったおまんじゅうは、その場で試食会、おしゃべりやお食事を楽しんだ後は、できたてのおまんじゅうをお土産に帰りました。



多くの参加者でおしゃべりしながら楽しみました



3種類のおまんじゅうができました!



リニューアルした調理室で初のお菓子づくり

知恵と技で我が家の野菜を食べつくそう

別海町酪農女性のつどい

別海町中央公民館で別海町酪農女性のつどいが12月3日(火)に開催され、別海に住む酪農女性が参加しました。

今年には保存食に注目し、「知恵と技で我が家の野菜を食べつくそう」の講演を根室農業改良普及センターから榎田純子氏を招き、前に取りまとめた各家庭の保存方法やレシピなど解説を交えながら紹介していただきま



榎田純子氏の講演に耳を傾ける参加者

した。午後からはカボチャの料理講習会が行われ、カボチャのどら焼き、カボチャきんちやくの美味しいお菓子が出来上がりました。



手づくりの作品を展示



カボチャのお菓子づくりに挑戦

みなさんが利用しやすいAコープ店舗を目指し

第2回店舗利用者懇談会

12月6日(金)、第2回店舗利用者懇談会が開催されました。

始めに店舗利用者懇談会及び構成員の紹介があり、店舗利用者懇談会要領について説明されました。

また、Aコープ店舗リニューアルに係る意見交換会がなされ、陳列が良くなったことやお店が明るくなった



などの感想があり、これらの改善点などが出されました。これからも皆様の利用しやすいAコープを目指し改善に努めていきます。



参加者の方がAコープに感じた前向きな意見を述べました

第27回 未経産クラス ホルスタイン 写真コンテスト結果発表

乳牛改良同志会(竹田潤会長)主催で行いました、第27回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けを美原地区の山田晃嗣さんにお願ひし、**正解はB→D→C→E→A→Fとなりました。**

全問正解は増岡耕平さんの1名でした。また、正解率上位者の中から、増岡哲生さん、能登美月さん、増岡美奈心さん、佐藤拓也さん、田代一步さん、能登琉花さん、山田拓嗣さん、井上拓也さん、真部更紗さんに賞品を贈呈致しますので畜産課畜産指導係までおこし下さい。

講評

私が選んだ序列は、B→D→C→E→A→Fの順とさせていただきます。

トップにさせて頂いたB牛ですが、肋の方向性、腰角、坐骨、臍の位置の正確さ、四肢の長さにおいて2番目に選んだD牛より、B牛の方が優れていると判断し、この序列と致しました。

次にD牛とC牛の比較ですが、D牛の方が、胸の強さ、幅、肋の充実、尻の骨格の正確さ、特に臍の位置において優れていると判断しこの序列と致しました。

次にC牛とE牛の比較ですが、C牛の方が、首の長さ、肩の鮮明さ、後肢の蹄の角度、全体における四肢の長さとの深さにおいて優れていると判断し、この序列と致しました。

次にE牛とAの比較ですが、E牛の方が、体の鮮明さ、長さ、皮膚の薄さにおいて優れていると判断し、この序列に致しました。

最後にA牛とF牛の比較ですが、A牛の方が胸、背線の強さ、体の深さにおいて優れていると判断し、この序列と致しました。

今回、初めてホルスタイン写真コンテストの審査をさせていただきましたが、非常に難しく大変悩みました。まだまだ勉強不足ですので、これから更に牛を見る目を養って、日々の経営に役立てて行きたいと思ひます。ありがとうございました。

1位B



2位D



3位C



4位E



5位A



6位F



営農対策情報

根室農業改良普及センター

平成25年産牧草サイレージの特徴と給与上の留意点について

表1 生育期毎のサンプル割合

生育期	サンプル割合 (分析点数)	
	H25	H24
出穂期	38% (98)	35% (529)
穂揃期	56% (146)	53% (814)
開花期	6% (15)	12% (181)

2. 水分%は高めの傾向
水分は全体を通じて昨年

1. 収穫は順調で適期刈りが増加
今年の1番草生育は出穂始り出穂期で昨年より3日早く、収穫作業も収穫期終了でも昨年より3日早く、順調に進みました。収穫時の生育期節では出穂期収穫の割合が増え、開花期収穫の割合は減っています(表1)。

平成24～25年の粗飼料分析値から、本年産サイレージ品質の特徴をまとめましたので参考にしてください(根室管内、水分65%以上の1番草グラスサイレージで集計)。

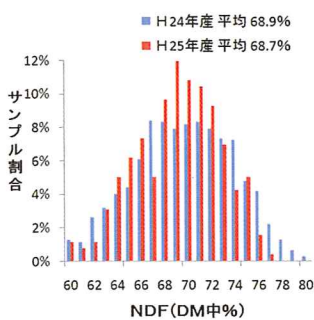


図2 NDFの傾向

3. NDF%が高いものは少ない傾向
NDFの平均値は昨年とあまり変わりませんが、N

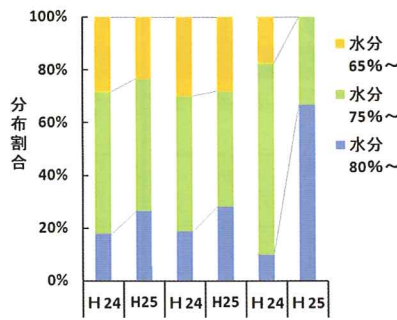


図1 収穫時期別の水分傾向

より高めの傾向です。収穫時期別が遅くなるにつれ、水分80%以上のサイレージ割合が高くなっています(図1)。
高水分サイレージの場合、採食量と水分率を把握し、乾物摂取量が不足しないようにしましょう。

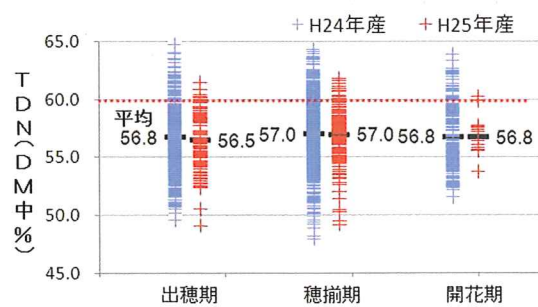


図3 収穫期別のTDN値分析

4. TDN・CP%ともばらつきが少ない
TDNについては、極端に低いものが減った反面、60%以上のものが1割以下と、栄養価の高いサイレージも少ない傾向です(図3)。

D Fが極端に高いものは少ない傾向です(図2)。
NDFが高い飼料は採食量が制限されるため、一部をビートパルプなどで置き換えるなどの対策が必要となります。また、掃き寄せ回数を増やすなど、牛が常に食べられる環境づくりを心掛けましょう。

6. 我が家のサイレージ品質を把握
乳牛の栄養充足・バランスへの対応には粗飼料分析が必要で、サイロ開封後は、速やかに粗飼料分析に出すように心掛けましょう。

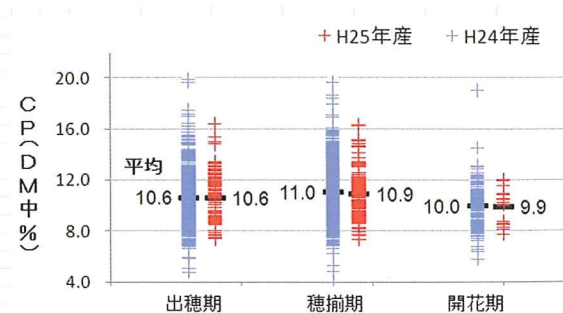


図4 収穫期別のCP値分析

CPも平均値では昨年並ですが、極端に低いサイレージは少なくばらつきが少ない傾向です(図4)。
TDN・CPが低めのサイレージ給与する時には、乳量・乳成分や牛の反応を見て、配合飼料等の増給も検討してください。

JA中春別より往復送迎バス・帯広前泊を追加8,000円にて別途納めます!

帯広空港発着! 直行チャーター便で行く!!



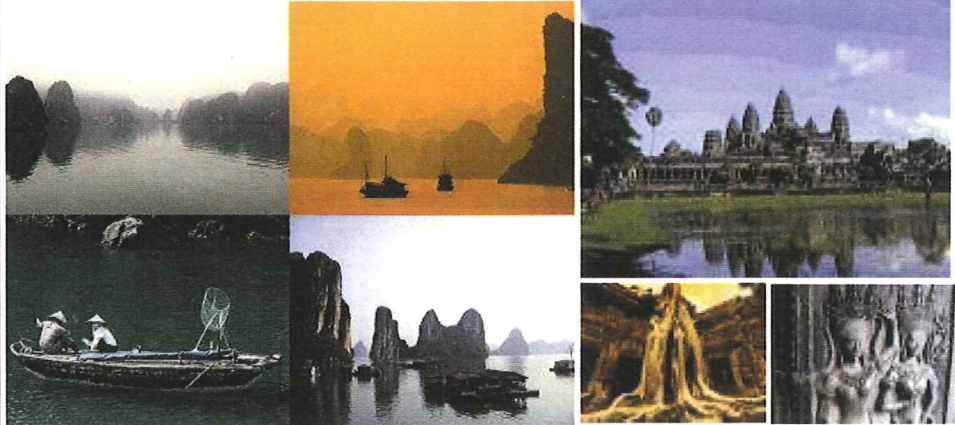
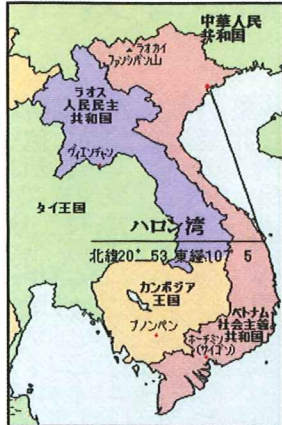
平成25年3月1日(土)~6日(木)

世界遺産

選べる2コース! **ベトナム・カンボジア満喫**

6日間

※写真は全てイメージです



<Aコース:ハロン湾とベトナム縦断コース> 洋室2名一室ご利用

旅行代金: 大人お一人様 **250,000~288,000 円** **行程**

日次	行程内容	食事	宿泊
1	帯広空港(午前発) → 台北經由 → ホーチミン → ホテル	— — — — — —	ホーチミン
2	メコン河のジャングルクルーズとホーチミン市内観光 → ホーチミン → ダナン → ホテル	朝 屋 夕	ダナン
3	世界遺産古都フエ観光 → カイティン帝廟 → ホイアン → ホテル	朝 屋 夕	ダナン
4	世界遺産ホイアン観光 → ダナン → ハノイ → ホテル	朝 屋 夕	ハノイ
5	世界遺産ハロン湾観光 → ハノイ → (機内泊)	朝 屋 夕	機内 ベトナム航空
6	→ 帯広空港(朝)	機 — —	

<Bコース:カンボジアとハロン湾コース> 洋室2名一室ご利用

旅行代金: 大人お一人様 **255,000~273,000 円** **行程**

日次	行程内容	食事	宿泊
1	帯広空港(午前発) → 台北經由 → ホーチミン → ホテル	— — — — — —	ホーチミン
2	メコン河のジャングルクルーズとホーチミン市内観光 → ホーチミン → シェムリアップ → ホテル	朝 屋 夕	シェムリアップ
3	アンコールトム及びアンコールワット観光へ	朝 屋 夕	シェムリアップ
4	東洋のモナリザ「バンテアイ・スレイ」観光 → シェムリアップ → ハノイ → ホテル	朝 屋 機	ハノイ
5	世界遺産ハロン湾観光 → ハノイ → (機内泊)	朝 屋 夕	機内 ベトナム航空
6	→ 帯広空港(朝)	機 — —	

※ この行程表は 2013/12/6 現在の予定であり、天候・交通事情またはその他の理由により変更になることもございますので予めご了承ください。

募集要項

- 募集人員 : Aコース:40名(最少催行人員30名)
 - 募集人員 : Bコース:80名(最少催行人員60名)
 - 添乗員 : 全行程同行して旅程管理業務を行います
 - 利用航空会社 : ベトナム航空(VN)エコノミークラス
 - 申込金 : 30,000円(旅行代金に充当します)
 - 申込締切日 : 平成26年1月31日(金)迄
- ※空港施設使用料・現地空港税・燃油チャージ(Aコース合計23600円)(Bコース合計28600円)・カボツア査証(Bコース8000円)は別途必要です。

利用ホテル

- ・ホーチミン/
スーペリア: マタハルホーチミン デラックス: 日航
- ・ダナン/
スーペリア: グリーンラザ デラックス: プルマン
- ・ハノイ/
スーペリア: フォーチャー デラックス: デ・ウネトル
- ・シェムリアップ/
スーペリア: プリンストウアンコール
デラックス: ソカアンコールゾート

ごあいさつ

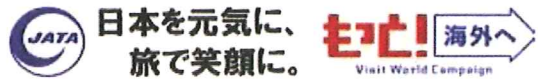


皆様には、日頃よりN TOURをご愛顧賜り、まことにありがとうございます。地域No.1の旅行会社を目指して皆様に海外旅行をより身近に感じていただきたいと思い、帯広空港からの直行チャーター便企画をご案内させていただきます。是非、この機会に親族・知人お誘いの上、ご参加いただきます様、宜しくお願いします。

● (株)農協観光ご旅行条件書<要旨> ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上お申込下さい。(2013.8.1)

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業 939号
株式会社農協観光
帯広支店

〒080-0013 帯広市西3条南7丁目14(農協ビル4階)
TEL(0155)24-4360 FAX(0155)24-4363
総合旅行業務取扱管理者: 笠松 孝司



●【経営科】農業クラブ役員改選

11月15日(金)、平成26年度農業クラブ執行部を決める立会演説会、役員選挙が行われました。

投票に先立って立会演説会が行われ、立候補者は、「農業クラブ活動をもっと活性化させたい」「少しでも役に立ちたい」など、堂々と抱負を話しました。その後投票を行い次の生徒が役員に選出されました。

【平成26年度 農業クラブ執行部】

会 長	伊藤 雄一 (2年)
副 会 長	齋藤 涼太 (2年)
〃	井上 季音 (1年)
書 記	小倉 彩生 (2年)
〃	漆原 望美 (1年)
会 計	横田 侑希 (2年)
〃	田中 尚弥 (1年)
監 査	内田 佑机 (2年)
〃	中西 竜二 (1年)
常任議長	木村 弥夢 (2年)

●【経営科】校内実績発表大会終了!

12月6日(金)、農業クラブ三大行事の最後となる校内実績発表大会が、本校体育館で行われ、ホームプロジェクト班、園芸班、加工班、環境班、農業科学基礎班の代表9発表が、今年度の活動成果を発表しました。結果は次のとおりです。なお、1月には、本校が当番校となって東北北海道地域の実績発表大会が行われます。



【最優秀賞】

地域もびっくり新商品 ～笑顔を届けます 別高加工班～

飯塚 咲希 (3年)、志渡 文汰 (2年)

【優秀賞】

第二次西別川探検隊

池田遼祐、室井貴彰、河原勇次、横田明希 (3年)

自産自消Part5 ベジタベール交流会新しい取り組み 加工班とのコラボ

奥山 綾奈、木村 弥夢 (2年)

我が家の草地改善～良質ロールサイレージを目指して～

畠山 政貴 (3年)

【専攻科】修了研究活動発表会実施

11月26日(火)修了研究活動発表会が実施されました。学生達が1年間かけて自家の課題解決のため、研究に取り組みました。



学生発表の様子

牛群の衛生管理及び環境改善について(HACCP導入による考察)、牧草地の管理について(各圃場における牧草と雑草の調査)、スタックサイロの踏圧調査(ph、乾物密度の測定)、死亡・淘汰率0%を目指して(免疫・気温の変化による死亡頭数の管内農家比較調査)、繁殖管理のモニター法への工夫について(繁殖台帳の整理による妊娠率、発情発見率の向上)、乳質改善(毛焼きを用いた病原菌の抑制)の6つの発表が行われました。

発表会には、根釧農業試験場、根室家畜保健衛生所、道東あさひ農業協同組合、中春別農業協同組合、根室農業改良普及センターから6人の講師がお見えになり、様々な視点から助言やご意見を頂きました。是非、専攻科を修了してからもご助言いただいたことを参考に、経営改善に積極的に取り組んでほしいと思います。また、1年目学生は、今回の発表内容等を参考に、早速自らの経営改善へ向けた取り組みの計画を立ててもらいたいと思います。

【専攻科】第39回根室管内青年農業者会議へ参加

12月3日(火)に中標津町にて根室管内4Hクラブ連絡協議会・北海道根室振興局主催の第39回根室管内青年農業者会議が開催され、学生12人が参加しました。

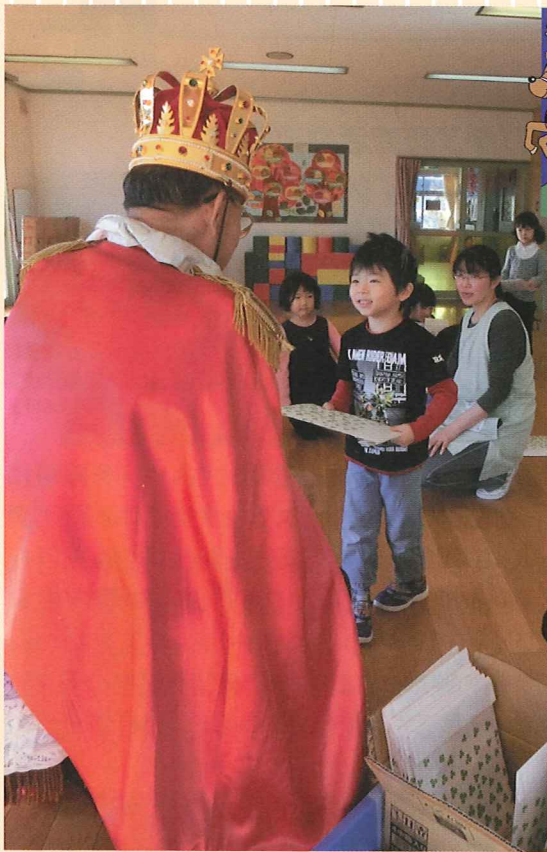


アグリメッセージ発表

アグリメッセージ発表では、1年目学生の深代ミドリさんが農業者・消費者としての想いを、また、プロジェクト発表では2年目学生の湯浅嘉謙さんが自家の酪農経営改善へ向けた取り組みについてそれぞれ発表をおこないました。

深代さんがアグリメッセージ発表で最優賞者として、1月に札幌でおこなわれる全道大会へ出場することとなりました。

聴衆していた学生達も含めて、根室管内の青年農業者のメッセージを通して、多いに刺激をうけ、今後の糧となった様子でした。



ミルク王国国王保育所訪問

1年元気で良い子に ヨーグルトをプレゼント!

12月9日(月)から13日(金)、ミルク王国(国王・佐々木茂成さん)が別海町にある保育園を訪問し、今年1年間元気でいい子に過ごした子供たちに、ヨーグルトとプレゼントを手渡しました。

子供たちは「ありがとうー!」とお礼を言ってお受け取り、その後、国王に聞きたいことを質問しました。「ミルク王国はどこにありますか?」との質問に「とっても遠いところだけど大人になったらみんなを招待したいなー!」と話す国王。

豊原保育所ではお礼に大好きなよさこいの踊りを国王に披露しました。国王は「とっても上手だったよ! ありがとうね!」と拍手を送り、帰り際に「また来てね!」と見送る園児達に手を振って応えました。



11月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

			単価	算出基礎	支乳払価	前年同期	差
乳脂肪分			810.912		32.67	32.41	0.26
無脂乳固形分			512.408		45.23	44.65	0.58
補給金			3.9521		3.95	4.23	-0.28
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	290,447,755.8kg	3.74	3.71	0.03
		ランク2	0	5,032,187.0kg			
		ランク3	-3	125,659.2kg			
	体細胞数	ランク1	2	254,844,102.5kg			
		ランク2	1	22,481,689.9kg			
		ランク3	-2	2,988,740.2kg			
合計					85.59	85.00	0.59

11月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%
乳脂肪分①	32円67銭
無脂乳固形分②	45円23銭
補給金③	3円95銭
チーズ奨励金④	
脂肪率	全道 4.03%
	農協 4.06%
無脂固形分率	全道 8.83%
	農協 8.78%
成分乳価	全道 81円85銭
①+②+③+④-⑤	農協 81円90銭
乳質乳価	全道 3円74銭
⑥	農協 3円80銭
乳代合計	全道 85円59銭
	農協 85円70銭
⑤+⑥	差異 11銭

関連会社より新年のご挨拶

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

平成26年 元旦

- 自動車の点検・整備・検査・農機具の修理
- 自動車・農機具の販売<北海道陸運局指定整備工場>



有限
会社

中春別マシンセンター

代表取締役 小湊 保

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年もご愛顧の程お願い申し上げます。

平成26年元旦

- 支援農作業の一切

Wamp (有)ジェイエー・ワンブ

代表取締役 小湊 保

別海町中春別南町3番地 TEL・FAX(0153)76-2861

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

平成26年 元旦

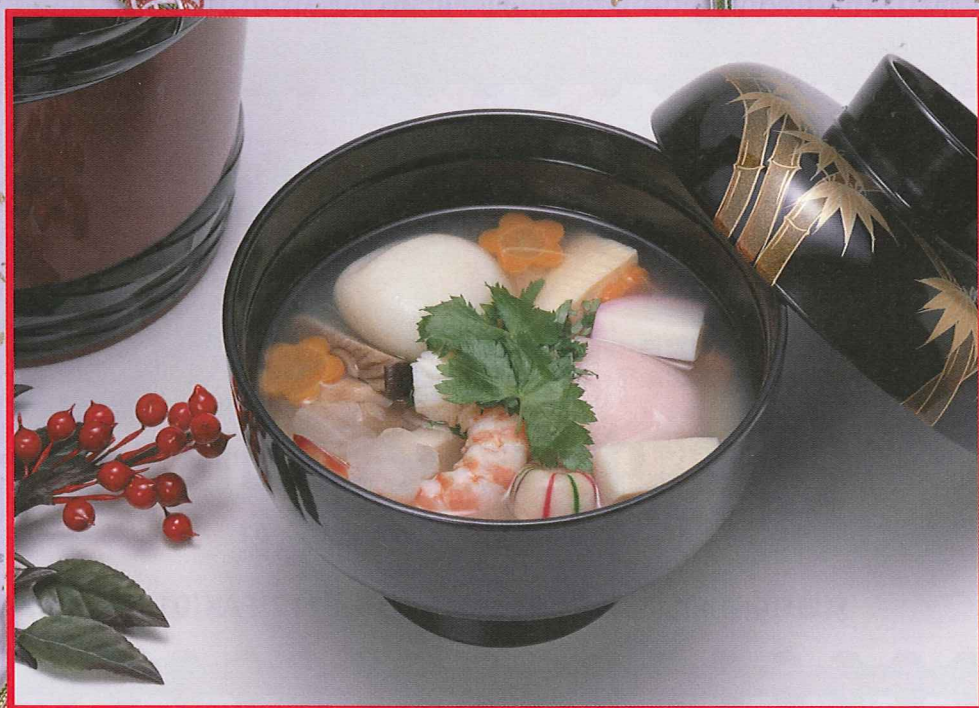


訪問介護ステーション

「あさひな」

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階
TEL・FAX(0153)76-3383

お雑煮



お雑煮の由来

雑煮は、当初、正月料理に限定されるものではありませんでしたが、室町時代の武家社会において祝い善として出されるようになり、正月料理となりました。

これは、大晦日の夜にその土地でとれた海や山の幸を神に供え、そのおさがりを食べたことの名残りであります。

ただし、江戸時代にも正月以外に食べられていた記述があり、室町期以降も正月料理に限定されていたというわけではないようです。

武家社会では、雑煮を「烹雑(ほうぞう)」と呼んでいました。「烹」は「煮る」の意味で、餅や野菜、海産物など雑多なものを入れて煮ることからこの名がついたようです。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆さまにおかれましてはお健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は組合だより「なかしゅんべつ」をご愛読いただきありがとうございました。今年も引き続き地域に密着した話題をお届けするくみあいだより作りを目標として励んで参りますので、本年も組合だより「なかしゅんべつ」を宜しくお願い致します。

2014年の新年号は今年の干支でもあります玉木忠さん宅の「馬(午)」を南澤三郎さんに撮影していただき、表紙に飾らせていただきました。ありがとうございました。



アドレス <http://www.ja-nks.jp>